

国民民主 こくみんみんしゅ
Press
KOKUMIN MINSHU PRESS
国民民主党 国民民主プレス 編集部
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-3 Nagatacho GRID 4F
TEL : 03-3593-6229 MAIL : info@new-kokumin.jp H P : new-kokumin.jp

号外
2024年2月

【連絡先】国民民主党茨城県第5区総支部(浅野さとし事務所)

国会事務所

〒100-8981
東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館406号室
TEL : 03-3508-7231
FAX : 03-3508-3231

日立事務所

〒317-0071
茨城県日立市鹿島町1-11-13
TEL : 0294-21-5522
FAX : 0294-21-3014

公式サイト

<https://asanosatoshi.com/>



衆議院議員
浅野さとし

新春対談

茨城県知事
大井川和彦

変革の先頭に立ち 未来を切り拓いていく

2024年新春特別企画として、本年も大井川和彦 茨城県知事との特別対談を実施させていただきました。対談では、物価高騰対策、子ども・子育て世代への支援、経済振興等に取り組んだ2023年を振り返り、今後のまちづくりの展望についての思いを語っていただきました。

2023年の振り返りについて

企業誘致や県産品の競争力強化に成果

浅野衆議院議員 (以下、浅野) 昨年も国内外では様々な出来事や政界の動きがありました。一年を通じて、大井川知事の印象に残っている出来事や、特に注力した施策、手応えのあった取組等があればご紹介いただけますか。

大井川茨城県知事 (以下、大井川) 昨年は、観測史上最も暑い年となるなど、地球規模での異常気象に見舞われ、本

県も度重なる記録的な豪雨により甚大な被害を受けました。

9月の台風第13号においては、議員の地元の県北地域を中心に多くの方が被災されました。被災された皆様に心からお見舞いを申し上げますとともに、一日でも早く心安らぐ生活を取り戻せますよう、引き続き、早期の復旧・復興と防災力の強化に取り組んでまいります。

また、コロナ禍を乗り越え、社会経済活動が活性化したことは大変喜ばしいことですが、一方で、ウクライナ情勢やイスラエル・パレスチナ情勢、グローバルサウスの台頭など、新たな分断と協調が進む世界情勢、生成AIの驚異的な進歩、「地球沸騰化時代」の到来など、予想を超える新たな事象に次々と直面しています。

加えて、長引く物価高騰や最も重要な課題である急



激な人口減少への対応が急務であり、私たちは今、将来を見通すことが困難な時代の転換点に立っています。

このような時代の荒波を乗り越えていくためには、「生産性」を向上させるとともに、「安心して暮らせる社会基盤」の確保が不可欠です。

本県では、生産性の向上に向けて、戦略的な企業誘致に取り組んでおり、県外企業立地件数が6年連続全国第1位に、2022年の首都圏から本県への本社機能移転企業数も全国第1位となったほか、北米やアジアをターゲットに、積極的なトップセールスを行い、農産物の輸出額は、私の知事就任前の10倍に拡大しました。

また、本県農林水産物の付加価値向上を目指し、メロンの「イバラキング」などのトップブランド化に取り組むとともに、新たなブランドとして「霞ヶ浦キャビア」「常陸乃国いせ海老」「常陸牛 煌」「常陸国天然まがも」を相次いで発表し、大変好評を博しているところです。

安心して暮らせる社会基盤の充実に向けは、最優先で医師確保すべき医療機関・診療科を選定し、地域の中核的な医療機関の機能強化を進めるとともに、AIマッチングによる結婚支援では2年間で交際件数が3倍になるほか、スマホアプリ導入などにより不法投棄の件数が2年前の6割減となるなど、着実に成果を上げているところです。

こうした様々な成果により、本県の着実な「変化」を感じる事ができた1年であったと考えております。

浅野 様々な社会的課題が山積する中で、着実な変化を生み出し続けていくことは簡単ではありませんが、企業誘致や県産品の競争力強化は、知事が就任当初から継続的に取り組まれていた事業だと記憶しています。それらの成果がひとつずつ花開いてきたのは、知事や県職員の皆さんの粘り強い挑戦の成果だと感じます。これからもご尽力をお願いいたします。

物価高騰対策について

県民生活や県内産業を支え 発展に繋げていく

浅野 一方で、一昨年来、食料品や日用品が値上げされ、更に、電気代高騰の傾向は政府の緩和措置などがあったものの、2024年以降も継続する見込みです。昨年、茨城県として県民生活や地域経済を支えるために行った施策や本年新たに取り組もうと考えている事について教えてください。

大井川 エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響は、依然として県民生活や企業の経済活動に重くのしかかっておりますので、県では、国の対策と歩調を合わせ、地方創生臨時交付金などを積極的に活用し、累次にわたり補正予算を編成するなど、スピード感をもって対策を講じてまいりました。



具体的には、低所得の子育て世帯への給付金の支給のほか、光熱費等の高騰の影響を受ける医療機関、福祉施設、学校への支援や、国の電気代の支援の対象とならない特別高圧契約で受電する中小企業者などへの電気料金の支援、肥料・飼料価格高騰の影響を受ける農林水産業者への支援などに取り組んでおります。

一方、物価高騰の影響が長期化の様相を呈する中、県内産業が持続的に発展していくためには、原材料価格の高騰などに左右されない、力強い事業構造への転換を図ることが極めて重要であると考えております。

このため、例えば、太陽光や蓄電池等の再生可能エネルギーを導入する事業者を支援するとともに、本県が日本一の生産量を誇る干しいもに着目し、製造過程で生じる皮などの未利用部分の飼料化とその流通を図る事業者への支援や、化学肥料の削減に取り組む農業者への支援などを進めております。

さらに、省力化と環境負荷の低減を両立した農業資材の導入や、賃金を一定額以上に引き上げた事業所の生産性向上を図るための設備投資など、本県産業の生産性向上に繋がる取組について積極的に後押ししております。

こうした取組を通じ、物価高騰による困難に立ち向かう県民生活や県内産業をしっかりと支えながら、この難局を乗り越え、本県の力強い発展に繋げてまいります。

浅野 茨城県内では、物価高が社会問題化するよりも前から、カーボンニュートラル産業の育成にむけたプロジェ

クトが多数立ち上がってきました。代表的なのは鹿島地区のカーボンニュートラルポート構想だと思いますが、再生可能エネルギーの利活用や省エネ推進は、物価高対策のみならず将来の競争力確保や新産業創生にも繋がっていきます。茨城県としても、ぜひ引き続きの取組をよろしく願いいたします。

茨城県の新しい幸福度指標について

「県民幸福度No.1」の実現に挑戦していく

浅野 茨城県では、2022年（令和4年）から2025年（令和7年）までの4年間を対象とした第2次茨城県総合計画の中で、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に取り組んでいると伺っています。幸福度指標には42もの要素があるそうですが、この幸福度指標とは何なのか、知事ご自身が特に意識している指標と、その指標を改善するためのご自身のお考えについてお聞かせください。

大井川 2022年3月に策定した第2次茨城県総合計画では、「日本一幸せな県」の実現に向けて、今まで抽象的な概念に留まっていた「幸せ」について「見える化」し、県民一人ひとりが幸せを実現できる環境の整備・充実状況を数値で把握するため、新たに県独自の「いばらき幸



福度指標」を導入しました。

構成する指標については、総合計画の柱である「新しい豊かさ」、「新しい安心安全」、「新しい人財育成」、「新しい夢・希望」の4つのチャレンジごとに、県民生活と関係が深く、個人の幸福と相関があると考えられる政府統計等を根拠とする42の客観的な指標を選定し、例えば、「新しい豊かさ」では「県民所得（県民一人当たり）」、「新しい安心安全」では「健康寿命」などを選定しております。

この42指標を活用して、全国順位を算出することにより、本県の課題を明確にし、これまでの成果の確認や、今後の政策の方向性の検討に活用しております。

例えば、「新しい豊かさ」については、2023年度全国5位であり、「産業振興」分野の「工場立地件数」や「労働生産性」など、これまで力を入れて取り組んできた施策に係る指標の順位が高いことから、引き続き、戦略的な企業誘致などに取り組んでまいります。

一方、「新しい安心安全」については、2023年度全国40位であり、「犯罪防止」分野の「刑法犯認知件数」のスコアが低いことから、自動車のナンバーを読み取る緊急配備支援システムの増設のほか、モデル地区における街頭防犯カメラの設置支援など、集中的な対策に取り組んでいるところです。

引き続き、いばらき幸福度指標を活用しながら、本県の強みの磨き上げや課題克服に向けた対策を積極的に進め、「県民幸福度No.1」の実現に挑戦してまいります。

浅野 幸福度と言っても、その言葉そのものは抽象的です

が、その要素を細分化していくと具体的にどの様な指標を改善していけばよいのかわかりやすくなるのですね。そして、茨城県民の幸福度を高めるためには、国・県・市町村がそれぞれの役割を具体的に捉え、各議会においてもこれらの指標の改善に資するかどうかという観点から議論を深めていくことが重要だと感じました。私も茨城県が策定した幸福度指標を国政の議論における参考としていきたいと思っております。

県北の災害対策について

先手先手の防災・減災対策を進める

浅野 昨年9月8日、茨城県内では初めて観測された線状降水帯により、日立市、高萩市、北茨城市で甚大な被害が発生しました。国や県の支援もあり、その後の復旧作業は順調に進んでいますが、今回の災害を教訓として今後の災害対策内容に補強箇所はありますか。

大井川 私は、頻発化・激甚化する豪雨災害に直面する中で、災害により得られた教訓を最大限に活かしながら、先手先手の備えを進め、災害発生時において全ての住民が適時適切な避難行動をとることができるようにすることが何より重要であると考えております。

このため、対策の徹底した前倒しを指示し、今年度



から、県内の洪水ハザード内の全ての住民の方を対象とした訓練を実施するとともに、各市町村における訓練の取組状況を県ホームページにおいて公表し「見える化」したところです。

また、県が浸水の想定される範囲や水深を示すために作成する「洪水浸水想定区域図」については、全ての県管理河川において2025年度までに作成する予定でしたが、9月の台風第13号では、多くの河川が氾濫したことを踏まえ、予定を1年前倒して作成することといたしました。これにより、市町村において、浸水リスクや避難方法などを周知するハザードマップなどの作成に、速やかにとりかかれるようにいたします。

引き続き、被災した方々の生活再建や中小企業者への支援、河川や道路などの早期の本格復旧に向け、全力で取り組むとともに、自然災害の発生時においても、県民の命と暮らしを守り抜くため、先手先手の防災・減災対策を進め、災害への対応能力の向上を図ってまいります。

浅野 現在は昨年被災した各市において、災害対策の前倒しに取り組んでいると聞いています。一方、政府が昨年7月に更新した国土強靱化基本計画の中では、デジタル技術等を用いた強靱化施策の高度化や地域における防災力の一層の強化といった部分が補強され、よりきめ細かい災害対策を推進する意向です。強靱化予算の拡充をはじめ、地域のコミュニティ内の連帯強化も重要な課題になっていくと感じていますので、地域の防災能力強化にむけた取組みでも一層連携させてください。

2024年の抱負について

「活力があり、県民が日本一幸せな県」 の実現に向け全力で取組む

浅野 最後に、大井川知事ご自身の2024年の抱負についてお聞かせください。

大井川 本年は辰年です。茨城県が「龍」の如く飛躍し、輝かしい未来を掴み取れるよう、困難な課題にも躊躇することなく、私自ら変革の先頭に立ち、現状を打破し、未来を切り拓いてまいります。

まずは、現下の物価高騰に対応し、県民生活や県内産業をしっかりと下支えするとともに、県内産業の生産性向上に向けた取組を加速することで高収益体質への構造転換を図り、本県経済の成長を確かなものにしてまいります。

また、最大の課題は人口減少であり、この流れを止めるのは容易なものではありませんが、人口減少に耐えうる県となるためにも、グローバル化をはじめとした生産性の向上、医療や福祉、教育など安心して暮らせる社会基盤の確保に、県庁一丸となって、全力で取り組んでまいります。

さらに、昨年の「茨城デスティネーションキャンペーン」をはじめ、「第46回全国育樹祭」や「G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合」の開催を機に、茨城の

魅力を国内外の多くの方々を知っていただくことができましたので、その流れをしっかりとしたものにしていかなければなりません。

また、農林水産物のトップブランド化などにより、魅力的な食の素材が揃いつつありますので、今年はそれらを更に深化させ、魅力ある「食」を観光資源や地域振興の起爆剤にしたいと考えております。そのためにも、「シン・いばらきメシ 総選挙2024」などを通じて、国内外からの人の流れをさらに活発なものとしてまいります。

このように、本県の潜在能力をさらに引き出すことにより、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向けて、本年も全力で取り組んでまいります。

浅野 昨年行われた各種の施策の成果を本年の更なる成長に繋げていくためにも、茨城県の今年の施策にも注目させていただきます。本日は長時間にわたってお考えを聞かせていただきありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

浅野さとし後援会は、**新規会員を募集集中!**

浅野さとしの政治活動は、皆さまのお力によって支えられています。

広報物の発送、国政報告会のご案内をしております。皆さまのご入会をお待ちしております。



←ご入会はこちらから

—□1,200円/年より

国会議事堂を見学しませんか?

- 団体・個人を問わず見学を歓迎します
- 土日の見学もご相談に応じます
- 平日に限り、議員会館内の食堂利用可（予約制）
- 所用時間は、約1時間・バス無料駐車場有り

浅野さとし事務所オリジナルデジタルパンフレットはこちらのURLよりご覧ください。



浅野さとし

プロフィール

《略歴》

1982年9月生まれ
2005年3月 青山学院大学工学部卒
2007年3月 青山学院大学大学院
工学部研究科修了(理学修士)
2007年4月 株式会社日立製作所 日立研究所入社
2013年8月 日立製作所労働組合研究所支部執行委員
2015年9月 衆議院議員大畠章宏秘書
2017年10月 衆議院議員初当選(第48回衆議院選挙)
2021年10月 衆議院議員2期目当選(第49回衆議院選挙)



各種SNSで

浅野さとしの最新情報発信中!!

<LINE>



地域の情報や
話題のニュース
についてわかり
やすく解説する
「浅野さとし
公式チャンネル」
はコチラから!

<YouTube>



要チェック!!

<Twitter>



Facebook・Instagramもチェック!

日立事務所

〒317-0071 茨城県日立市鹿島町 1-11-13
友愛ビル1階
TEL 0294-21-5522
FAX 0294-21-3014
Mail: asano@asano-office.net

ご意見・ご要請

浅野さとし後援会

国会事務所

〒100-8981 東京都千代田区永田町 2-2-1
衆議院第一議員会館 406号室
TEL 03-3508-7231
FAX 03-3508-3231
Mail: g17398@shugiin.go.jp